

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度 H17.3.22~		根拠法令・規程等	大気汚染防止法
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問 担当課(室)	環境課
	中項目 基本施策	02	自然と共生するまちづくり		
	小項目 施策	01	環境保全		
事務事業名		01	大気汚染防止事業	合 職・氏名	保全係長・久保山仁也
				先 電話	64-1822
				このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	大気汚染の影響を受ける恐れのある市民	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的 (何のために)	大気中の環境状況の現状及び経年推移を把握するため、環境指標物質や人体に有害な物質などを調査測定し、公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	大気の現状を常に把握することにより、今後の環境保全及び改善への意識改革を図る。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	大気環境測定局維持管理事業	市内3箇所の測定局の維持管理を行う	
	大気汚染監視事業	測定局の記録や粉塵発生原因等に対する調査等を行う	
	測定機器整備事業	測定局の統廃合及び機器更新等を行う	
	環境改善施設等整備助成事業	大気汚染の影響による健康被害を予防するための事業	
	届出受付事務	備前焼窯の設置等の届出を処理する	
	苦情処理事務	野焼きや粉塵などの市民からの相談通報を解決する	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	直接事業費	千円	13,257	5,318	7,472
	必要人員	人件費	千円	0.30人 2,431	0.16人 1,302	0.26人 2,201
	事業費	事業費	千円	15,688	6,620	9,673
	財源	国庫支出金	千円			
		受益者負担	千円			
		繰入金	千円			
市債		千円				
	その他()	千円	7,192			
	一般財源	千円	8,496	6,620	9,673	
	受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	結果指標量		説明	調査項目別に市内測定局、測定機器で調査した回数		
	対前年比	%		3,698	3,698	3,698
	活動コスト	円		6,065,296	5,318,069	7,471,549
	単位当たりコスト	円		1,640	1,438	2,020

事業の成果		成果指標名					年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
調査計画達成率	達成率(B/A)	目標値(A)		1	1	1	1				
		実績値(B)	0.996	0.994	0.993	到達目標値					
		達成率(B/A)	99.60%	99.40%	99.30%	1					
成果指標設定の考え方・式や説明											
有効測定回数 / 大気汚染調査回数 (穂浪、鶴海、野谷局のSO2、NOX、SPM、風向風速の有効測定日数とする)											

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要性	市民ニーズ	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	コスト	手段	目的達成度	A
効率性の評価	コスト	手段	市民参画度	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民参画度	市民参画度	市民参画度	C
有効性の評価	市民参画度	市民参画度	市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民参画度	市民参画度	市民参画度	B

進行年度 (H25年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	各大気測定局の十分なメンテナンスを実施し、耐用年数を経過した機器の計画的な更新を計画し、大きな修繕等が発生しないように適切な施設維持管理を行う。						

総合評価		総合評価
大気汚染常時監視については、更に欠測データを減らすために測定機器に十分な保守管理を行う必要がある。また、周辺環境等の状況変化に応じ調査内容を改善しながらの事業継続が必要である。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
		B

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	汚染状況の把握、被害未然防止のためにも、必要な施設である。今後も各施設の適切な保守管理を実施する。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

Action